

新たな制服導入のための準備委員会（第1回） 議事録

- 日時 令和4年12月1日 18時30分～19時30分
- 会場 壬生中学校図書室
- 参加者 校長、PTA会長、PTA副会長（2）、PTA総務委員代表（5）、
教頭、教務主任、養護教諭、生徒指導主事、生徒会担当教諭
- 庶務 準備委員会（第1回）を開催する。本会の目的は、より良い制服のあり方について、広く意見を聴取することにある。全2回の開催を予定する。準備委員会で地盤整備や論点整理を行い、検討委員会や選定委員会へと役割をつないでいく。
- 校長 プロセスを大切にしていきたい。
誰もが心地よいと思える制服を目指す。
- 庶務 背景や経緯について。1頁を参照のこと。令和4年8月に実施した保護者アンケートにおいても、81%の保護者から改善が必要との回答を得ている。
- 庶務 導入時期（案）について。2頁を参照のこと。統合創立45周年記念事業として、新制服導入を目指す案はいかがか。（委員 了）
- 庶務 導入方法はいかがか。
案1 新入生全員が新制服とする。
案2 新制服を「第3の制服」と位置付け、新旧どちらも標準服とする。
- 委員 経済的な事情や兄弟姉妹のおさがりを使用したい事情等も考慮する必要がある。
- 庶務 リサイクルの制服を使用したいという家庭もある。
- 委員 伝統ある旧制服を着させたい家庭もあり配慮する必要がある。
- 委員 個人的なことだが、我が子には、詰襟学生服を着させたいと思っていた。
- 庶務 新制服を「第3の制服」と位置付けることでよろしいか。（委員 了）
- 委員 いつまで新旧混在するか。
新制服導入の背景や経緯を重視し、一定期間をもって新制服に集約させていくのが望ましいだろう。
- 委員 新制服に一本化する時期は、導入後の状況等により判断するのがよい。
（委員 了）
- 庶務 工程イメージ（案）について。5頁を参照のこと。
令和5年2月までに、検討委員の人選、小学校保護者への調査、メーカー選定方法の検討等の地盤整備を行うこと。
令和5年5月に検討委員会を発足し、制服イメージの検討やメーカープレゼン等を行い、令和5年8月までにメーカーを決定すること。

令和6年6月までにデザイン等を決定し、令和6年7月から採寸等をはじめること。(委員 了)

庶務 各メーカーとの交渉や段取り等には慎重を期す。現在、5社から情報提供や連絡調整を図っている。メーカーの協力なしでは、本取組は行えない。不適切な関係が疑念されぬよう、公正公平に各メーカーとの連絡調整を行うことを誓う。

庶務 各組織の構成(案)について。5頁を参照のこと。

庶務 県内の先行事例では、現在の在校生やその保護者等が、学校の校風や気風等を考慮し責任をもって選定している。将来入学する子の保護者等に委員として参加してもらう例もある。

委員 検討委員会の各小学校PTA代表は、男女のバランスを考慮すること。子どもの被服に関心の高い女性保護者の比率を高めると良い。

委員 検討委員会と選定委員会に、学校職員も加わると良い。

委員 検討委員会と選定委員会に、小学生の子をもつ保護者も加わると良い。

委員 検討委員会、選定委員会ともに、生徒(男女比率考慮)が加わると良い。

委員 案にファッションショーとあるが、これは何か。

庶務 県内の先行事例による。体育館でいくつかのデザインの制服を生徒が着用し、ファッションショーを行った事例がある。生徒が投票する手法を導入している。

委員 小学生も投票に参加するか。

委員 小学生は中学校生活へのイメージがわからない段階である。小学生に投票を求めるのは難しくないか。

庶務 ファッションショーのあり方は今後の検討題とする。

庶務 本日の内容をまとめ、今後保護者や地域へ発信する。

散会 19時30分